



ズバット!

## Q&A

### 高齢者の てんかんとは?

最近、高齢者のてんかんが増えているといわれています。高齢者に多いてんかんの症状などを甲府脳神経外科病院脳神経内科小林理恵子医師に聞きました。



甲府脳神経外科病院  
脳神経内科

小林 理恵子さん

こばやし・りえこさん  
日本神経学会専門医・指導医、日本内科学会認定医。  
日本てんかん学会、日本臨床神経生理学会所属。



てんかんと聞くと、子どもに多い病気  
という印象です。



確かに子どもの病気として捉えられていることが多いようですが、最近は65歳以上の発症率が高いと言われています。脳卒中やアルツハイマー型認知症などによって脳に傷がついたことなどが原因となり、てんかん発作が起こると考えられています。



症状の特徴はありますか?



てんかん発作というと、意識を失って倒れ、けいれんするというイメージを持つ人が多いかもしれませんが、高齢者のてんかんは倒れたり、けいれんしたりする発作は少ないです。「意識減損」という表現を使うのですが、意識をなくすわけではなく、目の焦点が合わない、意識が曇って一時的にぼんやりする、意味不明な行動をとる、急に動きが止まったりする、受け答えが不明瞭になるなどの症状が見られるのが特徴です。場合によっては「はい」「いいえ」などの簡単な返事ができることもあります。本人はその間の記憶はありません。口をべちゃべちゃ動かしたり、手を勝手に動かしたりするなど特徴的な動作が見られることもあります。



認知症や加齢による症状と似ていますね。



ぼんやりしたり、反応が鈍かったりする様子などは見分けがつきにくいのですが、てんかんは発作なのでその症状はずっと続きません。発作自体は毎日あるものではなく、数日ないしは数カ月一回という人もいますので、症状がたまに見られるのか、いつも見られているかで判断できます。



診断の方法と治療法を教えてください。



問診を行い、特徴的な症状がみられるか気になる症状が繰り返し見られるかなどを詳しく尋ねます。頭部CTあるいはMRI検査によって脳卒中や脳腫瘍など原因となる脳の傷を確認します。脳波検査を行い発作の波の有無を見ます。これらの検査で診断を確定します。治療は抗発作薬の内服となります。眠気を起こす薬が多いので、活動性を落とさないことや他の薬に影響を及ぼさないことなどに注意しながら薬を選びます。

**【次回は11月13日(水)に掲載します。】**

掲載日：2024年10月23日／紙面頁15

紙面・記事・写真・イラスト等の無断掲載・転用はお断りします。